

担当部署	主要事業	事業概要・H28年度の目標	目標達成状況(成果)
産業振興部	地域営農課 農産物6次産業化事業	・調理用トマト(目標15アール)、辛味大根(目標10アール)の試験栽培と加工実証、農家収支の検証	・調理用トマト18アール、辛味大根6アールの試験栽培を行いました。 ・調理用トマトをトマトピューレに加工したり、ジビエトマトカレーを試作しました。 ・市内事業者がトマトポン酢を商品開発し、販売しています。
	商工観光課 企業立地推進事業(サテライトオフィス誘致事業・起業支援事業・クラウドソーシング推進事業)	・1事業者以上のオフィス誘致と起業支援 ・クラウドソーシングの活用を促進	・起業支援事業については、1事業者の開業を支援しましたが、サテライトオフィス等の誘致には至っていません。 ・商工会と連携し、創業支援セミナーを4回開催、9名の参加がありました。
	建設課 環境整備事業(上小原地区市道、ほ場整備事業)	・甲田町上小原地域(JR芸備線東側)の緊急自動車の進入不能対策(道路改良L=150m) ・耕作放棄地対策及び排水処理対策として、ほ場整備事業を実施	・市道改良L=130m及び舗装工事L=190mを実施し、供用開始しました。 ・ほ場整備については、事業説明を行い、補助事業としての事業採択を受けました。
建設部	建設課 東広島高田道路整備促進事業	・橋梁上部工、本体盛土工事などの施工に関する関係者との調整、整備事業全体の促進 ・吉田町側の下流排水対策	・早期完成に向けて、国・県並びに地元・地権者との調整を行い、当初の計画どおり事業を行いました。 ・吉田側の下流排水対策として用地を取得し、排水路工事L=80mを実施しました。
	住宅政策課 空き家バンク関係事業	・空き家情報バンクへの登録目標50件以上、利用者登録目標200人以上 ・空き家バンクの登録促進、移住定住希望者への情報提供 ・空き家等対策計画の策定	・空き家バンクへの登録は42件、利用登録者は188人でした。 ・空き家物件の売買・賃貸については、28件の契約が成立しました。 ・空き家等対策計画を平成28年12月に策定し、市ホームページで公表しました。
	上下水道課 水道・簡易水道建設改良事業	【水道の整備】 ・美土里町本郷・横田地区未給水区域の解消 ・水道管布設工事(L=5.6km)の完成と一部供用開始 【水源確保と施設の統廃合】 ・簡易水道事業等の水道事業への統合と新たな水源の確保、連絡管の整備、施設の統廃合を進める	【水道の整備】 ・平成28年9月に1回目の給水を開始し、2回目の給水開始(平成29年4月)に向けて、平成29年3月に説明会を開催しました。 ・水道管布設工事(L=6.0km)が平成29年2月末に完成しました。 【水源確保と施設の統廃合】 ・平成29年3月末をもって水道事業への統合を完了しました。
消防署	警防課 現場活動事業(応急手当普及)	・応急手当受講者の増加(H26・27年度を加えた3年間で、受講者数を生産年齢人口の44パーセント以上に)	・広報紙及びお太助フォン(救命処置手順の動画配信)を活用し、応急手当の普及啓発活動を行いました。 ・3年間で、市の生産年齢人口の48%にあたる7,237人を対象に各種救命講習を行いました。
教育委員会事務局	教育総務課 学校規模適正化推進事業	・教育環境の整備を目的に学校規模の適正化を図る ・校章、校歌の制定、制服、体操服の選定 ・統合校の施設整備	・統合が決定している甲田・八千代地区については、新しい学校の校章・校歌の制定など、具体的な協議を進め、統合の準備に入りました。また、平成30年4月の開校に向けて、統合校に相応しい施設整備を進めました。 ・吉田町の可愛・郷野地区については、統合年月日を「平成31年4月1日」、統合校の名称を「愛郷小学校」とすることで合意形成を図り、基本協定書を締結しました。
	学校教育課・生涯学習課 学力向上推進事業	①学習補助員等の配置によるきめ細やかな教育環境の提供 ②ICTの活用 ③「安芸高田市学力向上戦略」に基づく教員の授業力向上 ④地域未来塾(公営塾)の開設	①学習補助員等の活用 ・学習補助員5人、非常勤講師2人、教育介助員12人を該当校に配置し、きめ細やかな教育環境を提供しました。 ②ICT支援員の活用 ・ICT支援員を導入モデル校等に派遣し、機器等の基本的な操作・活用に関して助言を行うなど、ICT機器の活用を推進しました。 ③「安芸高田市学力向上戦略」の推進 ・学力向上推進プロジェクトを組織し、教員の授業力向上等の取組を計画的に進めました。(全体会議2回、ワーキング会議7回実施) ④地域未来塾の開設 ・試行的に小学5・6年生を対象に開設しました。
	生涯学習課 文化財保護事業(甲立古墳保存活用)	①国史跡甲立古墳企画展会期中の目標来館者数3,000人以上 ②甲立古墳シンポジウムの目標来場者数400人以上 ③甲立古墳保存活用計画策定委員会の設置、保存活用計画の骨子取りまとめ	①国史跡指定記念企画展「国史跡甲立古墳～蘇る家形埴輪祭りの世界～」開催(平成28年4月～6月、歴史民俗博物館、来館者数2,863人) ②甲立古墳国史跡指定記念事業「シンポジウム国史跡甲立古墳」開催(平成28年9月17日、クリスタルアージュ、来場者数230人) ③甲立古墳保存活用計画策定 ・平成28年9月に、史跡甲立古墳保存活用計画策定委員会の運営要綱を定めました。 ・委員会で保存整備計画概要の素案を作成しました。

担当部署	主要事業	事業概要・H28年度の目標	目標達成状況(成果)
総務部	危機管理課 危機管理マニュアル整備事業	・大規模災害対応に関する職員研修の実施 ・大規模災害を想定した図上訓練の実施及び訓練マニュアルの作成 ・現行の危機管理マニュアルの再整備と新規マニュアルの追加	・平成28年7月と8月に浸水想定区域見直しなどの防災研修を行いました。 ・平成28年10月に県と連携し、大規模土砂災害を想定した図上訓練を実施しました。この訓練がモデルとなり、市町災害対応訓練マニュアルが作成されました。 ・12件の危機管理マニュアルを更新し、新たに10件のマニュアルを追加しました。
	財政課 財政健全化計画推進事業	・平成28年12月までに財政健全化計画を見直す。	・目標どおり財政推計を行い、財政健全化計画の見直しを行いました。 ・財政健全化計画(第2次改訂版)を平成29年3月の市議会全員協議会で説明したほか、市のホームページで公表しました。
企画振興部	政策企画課 持続可能な公共交通確保事業(JR利用促進事業)	・三江線の廃止決定を受け、沿線市町と連携し、バス等による代替交通の確保を行う。	・JR西日本による三江線鉄道事業からの撤退を受け、沿線地域などを対象に意見交換会を4回実施しました。 ・新たな交通ネットワークの構築に向けて、アンケートやヒアリング調査を実施し、代替バス等のルートや運行事業者の検討を行いました。 ・今後も沿線市町をはじめ、広島・島根両県、中国運輸局等と連携を図り、三江線の代替交通を確保していきます。
	市民部 環境生活課 ごみ減量化対策事業(資源ごみ補助事業)	・資源ごみ回収により、芸北きれいセンターのゴミ処理量を800トン減量 ・生ごみ処理機50台の普及 ・エコタウンモデル事業の実施	・団体による資源回収実績は、694トン(達成率86.7%)でした。(内訳:古紙599トン、布類7トン、アルミ缶43トン、スチール缶16トン、ペットボトル29トン、廃食油1,180リットル、資源回収実施148団体) ・生ごみ減量化のため、生ごみ処理機21台、コンポスト20台の購入補助を実施したほか、「竹チップde生ごみコンポスト運動」を実施しました。 ・甲田町の「エコタウンモデル事業」では、24品目の分別を実施しています。
福祉保健部	子育て支援課 24時間保育の充実(病児預り事業・ファミリーサポートセンター事業・保育所規模適正化事業・保育料軽減事業)	①病児預り事業の実施についての検討 ②24時間の子育て応援(預り)ができるファミリーサポートセンターの提供会員を10%(6人)増員 ③(仮称)甲田認定こども園整備に関する地元説明会の実施と建設予定地の取得 ④第2子保育料半額を実施	①病児預り事業 ・実施の具体化には至りませんでした。今後も関係機関と協議を継続し、平成29年度中の開設を目指します。 ②ファミリーサポートセンター事業 ・平成28年4月時点で62人だった提供会員は、5人増員し67人になりました。 ③保育所規模適正化事業 ・平成28年7月に甲田町3保育所の保護者会に整備計画について説明を行いました。 ・平成29年3月に建設予定地の取得協議が整い、設立運営法人の募集準備を行いました。 ④保育料軽減事業 ・第3子以降の保育料無料化、第2子の保育料半額を実施し、多子世帯の負担軽減と子育て環境を充実させました。
	高齢者福祉課・保健医療課 市民総ヘルパー推進事業(介護予防普及啓発事業・若年性生活習慣病予防事業・健康あきたかた21推進事業・生活習慣病重症化予防プログラムに基づき生活習慣を改善、重症化を予防)	①介護予防普及啓発事業…モデル地区(1地区)で週1回教室を開催 ②若年性生活習慣病予防事業…市内小学校4年生を対象に健康学習及び血液検査を実施 ③健康あきたかた21推進事業…自分の健康を自己管理できる市民の増加 ④生活習慣病重症化予防プログラムに基づき生活習慣を改善、重症化を予防	①介護予防普及啓発事業 ・甲田町小原地域をモデル地区に介護予防教室を開催し、運動習慣の定着や認知症予防の取組を進めました。(介護予防教室年64回開催、参加者674名) ②若年性生活習慣病予防事業 ・市内13小学校の4年生を対象に健康学習と血液検査を実施しました。健康学習では、生活習慣病についての理解が深まり、児童自らの生活習慣を見直す機会を提供しました。(血液検査の実施:対象231人、実施率78%) ③健康あきたかた21推進事業 ・健康フェスタ2016(参加者数1,250人)、6地区で巡回型健康教室(参加者数303人)を実施し、健康意識が向上しました。 ④生活習慣病重症化予防事業 ・新規に22人、また、平成27年度までの修了者194人に支援を行い、重症化予防の取組を進めました。
産業振興部	地域営農課 有害鳥獣対策事業	・シカ(計画3,110頭)、イノシシ(計画1,191頭)など有害鳥獣の捕獲(駆除) ・鳥獣害防護柵の設置に対する補助 ・里山林整備目標14.7ha ・ジビエ特産化を推進(食肉処理場での解体数300頭以上、販売金額500万円以上を目標)	・捕獲(駆除)実績は、サル2頭、シカ2,838頭、イノシシ1,324頭、カラス44羽、カワウ等21羽でした。 ・有害鳥獣の死骸処理実績は837頭でした。 ・鳥獣害防護柵は申請39件、柵延長54km、8,838千円の経費補助を行いました。 ・8カ所14.9haの里山林整備を行いました。 ・食肉処理場での解体数は304頭、販売金額489万円でした。